



12月12日
東地申第20号

「横須賀・総武快速線の乗務員基地再編について」に関する

申し入れ(その2) 団体交渉を行う！ その①

交渉に入る前に会社に対して開催日についての回答を求める！

申し入れから交渉まで2カ月経ってからの開催理由について、会社より「会社の中で検討と打合せをしてきた。窓口間の調整において、12月12日の開催となった。真摯に議論を行っていく」ことを確認し、交渉に入る！

【基本】

1. 総武運輸区(仮称)から丸の内運輸区に決定した経緯を明らかにすること。また、丸の内運輸区の発足日を明らかにすること。

回答:社員の意見等を参考に首都圏本部で決定したものである。また、発足日については2024年3月を予定しており、決まり次第周知を実施する考えである。

組合	会社
<ul style="list-style-type: none">◆ 「社員の意見等を参考にした」と言うが、どのように反映したのか。◆ 投票結果が出ていない。◆ 社員に公募させた理由は何か。◆ 発足日はいつなのか。◆ 工事の進捗状況を示すこと。	<ul style="list-style-type: none">➢ <u>区所名のアイデア募集を行い、現場長ワーキング(以下「WG」とする)で設定してきた。</u>➢ <u>約100件の応募があった。「丸の内運輸区」の応募が一番あり、落ち着いた。</u>➢ <u>職場のムードを挙げていく一つとして行った。</u>➢ <u>決まり次第周知していく。ダイヤ改正が控えている。現場の負担が少ないように行う。</u>➢ <u>順調に推移している。発足日にあたりが出ることはない。</u>

2. 2022年10月にタブレット配信された「今後の乗務員基地再編」で、社員の意見を聞き進めていくとあるが、誰を対象にしてどのような意見が出されているのか明らかにすること。

回答:社員の意見も参考にしながら準備を進めているところである。なお、社員の意見は様々な場面を通じて把握している。

組合	会社
<ul style="list-style-type: none">◆ <u>社員の意見を参考に、どのように進めてきたのか。</u>◆ <u>どのような意見が出ているのか。</u>◆ 意見の取り扱いが明らかになっていない。社員への発信の考え方を示すこと。◆ <u>実施できるものはいつ示せるのか。進捗状況は、いつ周知できるのか。</u>	<ul style="list-style-type: none">➢ <u>WGで意見を伺ってきた。管理者にコミュニケーションで伝えた内容を参考にしている。</u>➢ <u>「企画業務のスペースが足りていない」「大浴場に入るのに抵抗がある」と意見が出ている。</u>➢ <u>設備面でカバーできるものがある。精査してできるものは行っていく。</u>➢ <u>実現できる状態になってから周知していく。限界まで調整しているものがある。要員が固まらないとスペースも決められない。説明会は、準備が出来次第、実施していく。</u>



12月12日
東地申第20号

「横須賀・総武快速線の乗務員基地再編について」に関する

申し入れ（その2）団体交渉を行う！ その②

2項の続き

組合

- ◆ 「タブレット配信や社員の声を聞いて行う」とあったが、具体的に何を聞いてきたのか。
- ◆ WGの活動が明らかにされていない。説明会では決まったことだけが示され、意見は聞かれていない。意見を聞きながら進めていくとある中で、一部の社員の声だけでなく、全社員に意見を聞くべきだ。
- ◆ 実施の可否はあるが、様々な声を聞いて進めていくべきだ。
- ◆ 設備の要求等の意見は、管理者とコミュニケーションをとっていくことで構わないか。

- 区所名称がある。それ以外には、全社員を対象には実施していない。現場長等に一般社員の意見については確認をしている。
- 現場長や副長が様々な社員とコミュニケーションを取っている。全社員に行うのが正しい姿であるが、全てのことを全社員にアンケートとって進めていけないのが現実である。
- 可能な限り、前広に打ち出して、意見を聞いて進めたいと考えている。日々、考えていることは管理者に伝えていただきたい。
- 基本、現場長を窓口、副長に伝えていただきたい。

会社

3. 現東京車掌区・東京電車区から丸の内運輸区への移転スケジュールを明らかにすること。

回答：丸の内運輸区への移転は2024年3月を予定しており、具体的なスケジュールについては決まり次第周知を実施する考えである。

組合

- ◆ どのようなスケジュールで進んでいるのか示すこと。
- ◆ 今月中にはできるのか。
- ◆ 内覧会は、全社員を対象とすることを求める。
- ◆ 内覧会を経て要望がある際に改善は可能か。

- 今後、内覧会を行う。上野運輸区の例を見て、内覧会の日付を決めていく。
- 出来上がっていないため、工事工程から見れば2月下旬。まだ日付は決まっていない。工事現場を想像してもらいたい。出来上がった状態を見せよう。
- 検討中である。いつ頃に内覧会を行うかにもよる。
- 物による。できる前に入るのは、安全上の観点から難しい。他にできる方法がないか検討していく。

会社

4. 丸の内運輸区の標準数について「運転士」「車掌」に分けて示すこと。また、標準数については安全・サービスレベルを確保するために必要な要員を確保すること。

回答：現業機関での柔軟な働き方の推進の趣旨を踏まえ、現業機関における業務量については、年間を通した平均的な業務量の基準として、「変形等」「交代」「乗務員」の1日当りの出面数(作業ダイヤ数)を「管理一般」に分けて示していくこととなる。なお、引き続き業務に必要な要員は確保していく考えである。

組合

- ◆ 標準数で求める。標準数では出さないのか。
- ◆ 何名必要なのか明確にすること。一年を通しての出面数では見合わない。職場では休日出勤が多く、疲弊している。必要な要員の確保はしているのか。
- ◆ 運転士、車掌が何名必要なのかを示すこと。

- 変わることはない、回答の通りである。
- 必要な要員は確保している。
- 要員の示し方は適切だと感じている。ご主張は承るが、こちらの主張は変わらない。

会社



12月12日
東地申第20号

「横須賀・総武快速線の乗務員基地再編について」に関する

申し入れ（その2）団体交渉を行う！ その③

5. 丸の内運輸区の発足に伴う異動について、本人希望を遵守すること。また、本施策実施に伴う面談を実施すること。

回答：異動については就業規則に則り取り扱うこととなる。また、自己申告書の面談等を通じ、社員の状況等の把握に努めている

組合

- ◆ 社員の声は聞いているのか。
- ◆ 面談は首都圏本部の指導か。
- ◆ 管理者により面談に偏りが出ている。不公平感で、統一しなければ困る！
- ◆ 状況や気持ちに変化があれば、管理者や現場長に伝えれば良いか。
- ◆ 基地再編における面談で、丸の内運輸区の乗務範囲も決まっていない中、他支社の大船運輸区や千葉運輸区が聞かれた。また、聞かれていない社員も出ていることは問題だ！
- ◆ 下期の面談以降に異動してきた社員はどうするのか。
- ◆ エルダー乗務員は下期の面談がない。一般社員と同様に意向を聞くこと。
- ◆ 面談内容に差が出ている。フォローや聞く場を設けるべきである。再度、面談を求める！

- 自己申告書の面談で話を伺っていると聞いている。10月の面談で聞くことを事前に周知した。面談で把握したものは首都圏本部に上がってきている。
- 会社として指導していない。
- 希望ではなく、状況を聞くための面談である。再度、面談を行うことは考えていない。不公平感は生じていないと考えている。
- その通りである。
- 丁寧に進めていると認識している。他支社の話をしてはいけないと感じていない。何も説明のない中で、他支社の話は行路移管を想定して行っていない。具体的なやりとりまではわからない。
- 個別に管理者からフォローしていく。
- 社員の状況を聞くことに差異はない。
- 全ての社員に対して行う考えはない。伝えるべき情報は伝えている。ご主張は承る。会社として、然るべき状況は確認した！

会社

6. 存置する東京車掌区の乗務線区は現行通りとすること。

回答：列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成していく考えである。

組合

- ◆ 現行通りで良いか。
- ◆ 特急鎌倉号のような列車の乗務はどうなるのか。

- 上野東京ラインを担う職場となる。
- 波動はその都度、設定を行う。現時点で乗務するかどうかは示せない。ダイヤ改正場面では教育や要員の視点から最善で行う。

会社

7. 存置する東京車掌区の横須賀線乗務の技量維持のため、湘南新宿ライン担当行路を設定すること。

回答：列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成していく考えである。

組合

- ◆ 設定する考えはあるのか。
- ◆ どのような教育を具体的に考えているのか。
- ◆ 乗務可否があってはいけない。決まったことは示すこと。

- 必要な教育は行っていく。
- 新人車掌に対して、必要な対策は考えていく。
- 現在、最終調整中である。

会社



12月12日
東地申第20号

「横須賀・総武快速線の乗務員基地再編について」に関する

申し入れ（その2）団体交渉を行う！ その④

8. 丸の内運輸区における相互運用の考え方について明らかにすること。丸の内運輸区の乗務範囲を「運転士」「車掌」に分けて具体的に明らかにすること。また、運転士・車掌共に千葉以遠の総武本線・成田線・外房線・内房線の普通列車及び快速列車は担当しないこと。

回答：担当業務間の相互運用を行うことによって、安全とサービス向上に資すると考えている。なお、社員運用については、就業規則に則り取り扱うこととなる。

組合	◆ <u>相互運用を取り入れる考えで良いのか。</u>	➢ <u>発足後には、相互運用をめざしていく。</u>	会社
	◆ <u>その他時間の設定もあり得るのか。</u>	➢ <u>あり得る。</u>	
	◆ <u>運転士経験者の（運転・医学）適性種別を車掌の適性種別に変更したのはなぜか。</u>	➢ <u>業務に合わせた適性で行っている。</u>	
	◆ <u>相互運用の発令はどうか。</u>	➢ <u>業務に関する発令はある。運転士から車掌のケースが多いと考える。</u>	
	◆ <u>発足と同時に行うのではなく、一定程度起動にのせてから行うべきだ。</u>	➢ <u>車掌の課題の洗い出しに兼務をかけることはある。</u>	
	◆ <u>職場が混乱するやり方は行わないこと。</u>	➢ <u>相互運用が安全を損なうものとは考えていない。車掌の視点も深められ、安全に資すると考えている。</u>	

【運用】

1. 丸の内運輸区の乗務範囲を「運転士」「車掌」に分けて具体的に明らかにすること。また、運転士・車掌共に千葉以遠の総武本線・成田線・外房線・内房線の普通列車及び快速列車は担当しないこと。

回答：列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成していく考えである。

組合	◆ <u>「運転士」と「車掌」の乗務範囲を明らかにすること。</u>	➢ <u>丸の内運輸区の使命からも、横須賀・総武を中心に乗務する。成田エクスプレス（以下、NEX とする）も引き続き担当を検討している。最終調整中で決まり次第お知らせする。</u>	会社
	◆ <u>「運転士」「車掌」とも、千葉以遠は担当しないで良いか。</u>	➢ <u>別途、教育が必要なため、現時点では考えていない。</u>	

2. 丸の内運輸区において臨時列車担当があるのか明らかにすること。

回答：臨時列車の担当については、運転計画の決定の都度指定していくこととなる。

組合	◆ <u>決定しているものを示すこと。</u>	➢ <u>春の臨時列車は今から調整していく。臨時はその都度、都合の良いところに設定していく。</u>	会社
	◆ <u>どのくらい前に決まるのか。</u>	➢ <u>2か月前ぐらいには決まっていく。横須賀・総武の臨時持ちは少ないので、あまり設定はないと考えている。</u>	
	◆ <u>横須賀・総武に跨る列車の乗務について、考え方はあるのか。</u>	➢ <u>要員最小限、少人数で乗務が良いと考えている。</u>	

3. 車掌行路について横須賀線～総武快速線の混み運用を設定しないこと。

回答：列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成していく考えである。

組合	◆ <u>混み運用は設定を行わないこと。</u>	➢ <u>効率が出るならば選択する考えはあるが、輸送の安定性も鑑みて検討していく。</u>	会社
	◆ <u>異常時対応で利用者に迷惑をかけない行路設定を求める。</u>	➢ <u>検討していく。</u>	



12月12日
東地申第20号

「横須賀・総武快速線の乗務員基地再編について」に関する

申し入れ（その2）団体交渉を行う！ その⑤

4. 丸の内運輸区の「運転士」「車掌」の新規養成について考え方を明らかにすること。

回答:新規養成については、必要な教育・訓練を実施していく考えである。

組合

- ◆ 新規養成はあるのか。
- ◆ 発足と同時に入ってくるのか。

- 新規養成は行う考えである。
- 現場とコミュニケーションをとり、配属は決定していく。

会社

5. 横須賀線異常時における横浜駅～戸塚駅間東海道線運転について丸の内運輸区発足後の教育方法を明らかにすること。

回答:必要な教育・訓練は実施していく考えである。

組合

- ◆ 具体的な教育方法を示すこと。
- ◆ 車掌が最初から NEX に乗務しないと、東海道線の線路を乗務する機会がない。何か考えていることがあれば示すこと。
- ◆ 列車を仕立てて行うことは、現場で意見を上げれば検討は可能か。

- NEX は戸塚～横浜間を一本ずつ迂回している。横浜支社と調整して継続させたい考えである。NEX に乗務していなくても、異常時については、指導・教育されている考えなので、特段考えていない。
- 適宜、NEX の教育が行われていると聞いている。教育はしっかり行っていく。
- 乗務員指導に上げてもらって、首都圏本部に来ることはある。車掌手配、スジを引く、人数のボリュームの全てを鑑みて行うことになる。

会社

6. 田町運転区が担当している横須賀線行路は現行通りとすること。

回答:効率的な業務執行体制実現のために、行路移管を含め検討しているところである。

組合

- ◆ 検討内容を具体的に示すこと。
- ◆ 田町運転区では、横須賀線の行路がなくなるのか。
- ◆ 田町運転区は、臨時列車を担当する区所である。技量維持の観点から久里浜まで乗務させること。
- ◆ 横須賀線、逗子～久里浜の休日設定が無い。今後、担うことになった際にはバランスをみて設定を要請する。

- 丸の内運輸区が横須賀・総武を担うことになるかと検討している。
- 線区別の役割の考え方で行う。
- 現場からの訓練要請があれば、調整して設定を検討していく。
- 検討していく。

会社

7. 現在、東京電車区が担当している総武快速線・横須賀線における入区出区箇所に変更があるか明らかにすること。

回答:入出区箇所については、異常時対応能力向上のために、拡大を検討しているところである。

組合

- ◆ 検討していることを示すこと。
- ◆ 入出区箇所の順番はあるのか。
- ◆ 3月から定期で持つのか、持たないのか。
- ◆ 田町運転区では、入出区の拡大の検討はあるのか。

- 線区で入れない箇所が多くあった。異常時対応のため、少しずつ、入出区箇所の拡大をしていきたい。
- 近場から設定していきたい。横浜支社との調整も必要。
- 変化点で行うのが一番良い。全乗務員が終わるのが前提。
- 関係支社との調整が必要。スケジュールはダイヤ改正までに教育を終えたい。

会社



12月12日
東地申第20号

「横須賀・総武快速線の乗務員基地再編について」に関する

申し入れ（その2）団体交渉を行う！ その⑥

【設備】

1. 東京駅総武地下4階の総武地下詰所および喫煙所は残すこと。

回答:丸の内運輸区発足に向けて、詰所および喫煙所についてもあり方を検討しているところである。

組合

- ◆ 総武地下詰所は残るのか。
- ◆ 「検討している」と言うが、重きはどのように考えているのか。
- ◆ 乗務員が次の乗務で備える環境が必要である。総武地下詰所は残すべきだ。
- ◆ 「廃止」の方向を強く感じた。総武地下詰所を無くせば、全てを本区に持ってくるのか。
- ◆ 一度に最大でどのくらいの乗務員が休憩すると想定しているのか。
- ◆ 詰所と喫煙所のあり方について、考え方を示すこと。
- ◆ 東京車掌区を疎開させた時には、東京での休憩は丸の内運輸区を使うことになるのか。

帰れる距離であるならば、本区に帰れる行路設定とするべきだ！一度無くしたら、再度の設置には時間とお金がかかる。あるものは残すべきだ。

- 総武地下詰所のあり方は検討中。決まり次第周知していく。
- 丸の内運輸区はすぐ上にあるので、可能であれば「廃止」を考えているが、スペース次第で変わってくる。
- 職場には様々なスペースも必要。乗務で不安等があれば、本区に戻り指導や副長とのコミュニケーションも必要。必ずしも、総武地下詰所が必要ということにはならない。
- 収容できれば、本区とする。できなければ、総武地下詰所は残していく。
- 建物を検討するにあたり、検討を行い、シュミレーションを行っている。
- 基本的に帰れる距離で、規模感があれば、本区とする。
- 現時点では考えていない。

会社

2. 丸の内運輸区における間内レイアウト、備品、設備について明らかにすること。また以下の設備について整備すること。①洗濯機および乾燥機を設置すること。②複数人で入れる浴槽にすること。

③食事スペースを壁でしきること。④必要な人数分の乗務カバン置き場を設置すること。

回答:必要な設備の整備については実施していく考えである。

組合

- ◆ 間内レイアウトを示すこと。
- ◆ いすの配置等も示せないのか。
- ◆ 内覧会のときは、青写真もできていて同時に示すのか。
- ◆ 大まかな配置でも出せないのか。発足まで残り3ヶ月。「工事は順調に進んでいる」と言うが、示せない。本当に大丈夫なのか。最終段階でないと示せないのか。
- ◆ ①～④について考え方を示すこと。
- ◆ 新しい情報はどのように入ってくるのか。

- 間内レイアウトを示すことはできない。
- まだ決定していないので、示せない。
- 示せるタイミングで示していく。どの方法がわかりやすく、伝わるのか検討している。
- 変更することは、現場で多々ある。示し方は検討している。
- ①は、検討中。決まり次第お知らせする。
- ②は、ユニットバス・シャワーで検討。
- ③は、壁をつくることは考えていない。
- ④は、必要な人数分の整備を行う方向。
- 周知方法は検討し、周知していく。

会社